

(予稿) / (研究論文) / (統一論題論説)

日本交通学会執筆要項 (2018 年度) *

交通 太郎 (日本交通大学) ¹

航空のぞみ (国際航空大学) ²

要旨

これは、日本交通学会の執筆要項です。この執筆要項は、研究報告会のための予稿原稿と『交通学研究』への投稿原稿の両者に適用されます。すべての論文の体裁 (余白サイズ、文字数×行数、フォント、ポイント数、太字の指定など) を統一するためのものですので、この執筆要項は、熟読の上、必ず遵守して原稿をご執筆ください。要旨は9ptです。

Key Words: 交通学会、執筆要項、ダウンロード版、形式遵守

1. 原稿作成にあたって

1.1 2012 年度からの変更点

2012 年度から『交通学研究』は A4 版で印刷しております (2011 年度までは B5)。そのため、ファイルの設定等に変更がありますので、本執筆要項をよくお読み頂きますようお願い致します。

1.2 ファイル形式のダウンロード

この執筆要項は、執筆要項の形式に沿って作成されています。日本交通学会ホームページからダウンロードすることが可能ですので、初期設定のまま原稿を作成することができます。

1.3 分量

図表を含み 8 ページ (2011 年度までは 10 ページ) 以内。超過した原稿は受け付けませんのでご注意ください。

1.4 ファイル形式 (使用ソフト) およびバージョン

原則として Microsoft Word によって作成してください。

1.5 提出時の注意

ファイル名は必ず「【〇-〇】〇〇〇 (タイトル (略可)・筆者名) .doc(.docx)」とし、「ver.1」などは付加しないでください。

保存時には変更履歴を削除して、表示倍率を 100% で保存してください。

1.6 図表の大きさ及び配色

図表の大きさは、タイトルの文字フォントを除き任意ですが、白黒で印刷することを念頭に、配色や網掛けを見やすいように作成してください。

*2017 年〇月〇日初原稿受理、2018 年〇月〇日採択。(必ず記載してください。日付は編集委員会の指示に従ってください。)
『交通学研究』への投稿原稿のタイトルが、研究報告会発表時 (予稿) のタイトルと異なる場合には、そのことを明記してください。

¹ 問合せ先。〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本交通大学交通学部教授 交通太郎。
E-mail: taro_kotu@nihon-kotu-u.ac.jp。(メールアドレスは黒文字とし、下線は消してください)

² 問合せ先。〒160-0016 東京都新宿区信濃町 3-4 国際航空大学交通政策学部准教授 航空のぞみ。
E-mail: nozomi_kouku@ia-u.ac.jp。

1.6 ページ設定（初期設定）

1.6.1 文字数と行数

文字数（全角換算）50字（字送り 9.05pt）×行数41行（行送り 16pt）＝2,050文字で8ページです。また、英語論文の場合は41行です。

1.6.2 フォントの設定

日本語用のフォント：MS明朝体、10ポイント（「MS P明朝体」ではありません）

英数字用のフォント：Times New Roman、10ポイント

ただし、要旨、Key Word、脚注、参考文献は9ポイント、タイトルは14ポイント、氏名・所属は11ポイントです。また、ヘッダー、種別、項目番号・項目タイトル、図表番号・図表タイトルはMSゴシック体、フッターはTimes New Roman体です（付録参照）。Microsoft Wordの初期設定は10.5ポイントで、英数字用フォントはCenturyとなっていますので、ご注意ください。

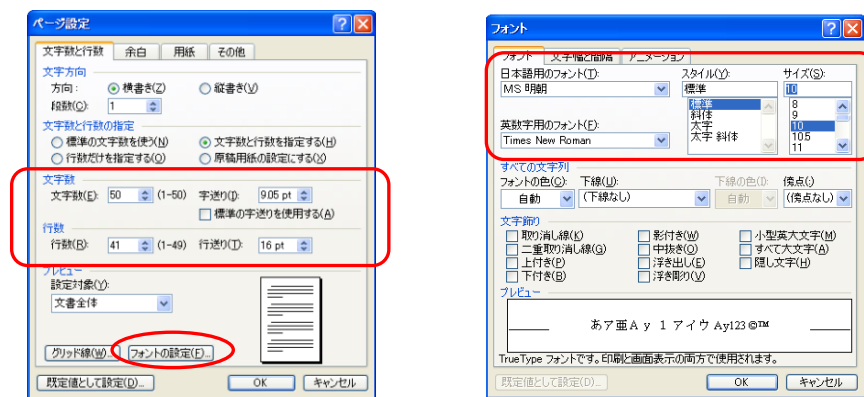


図1 文字数と行数・フォントの初期設定

1.6.3 用紙

A4サイズ

1.6.4 余白、ヘッダーとフッター

余白は、上：30mm、下：30mm、左：25mm、右：25mmとします。またヘッダーとフッターの用紙の端からの距離は、ヘッダー25mm、フッター17.5mmとします。これらの執筆要項に準拠しない原稿は受理いたしませんので十分に注意してください。

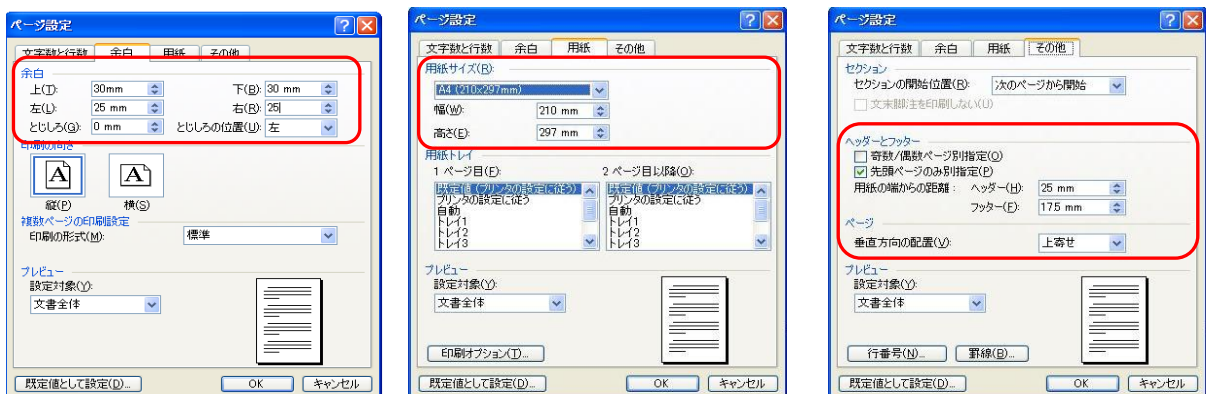


図2 余白・用紙・その他

2. 表記上の注意

句点は「。」、読点は「、」としてください。

数字は、1桁の場合には全角に、2桁以上の場合には半角にしてください。ただし、参考文献および引用文献のページ数については、1桁の場合にも半角にしてください。

項目番号は、第1レベルのみ全角にし、第2レベル以降は半角にしてください。

化学式は、「CO₂」のように下付き数字を用いて表記してください。

E-mail アドレスや URL を記載する場合は、「黒文字・下線なし」としてください。

3. タイトル、氏名・所属等

3.1 ヘッダー

ヘッダー部分は、先頭ページのみ、「MSゴシック体、10ポイント、右寄せ、下線付き」で下記のとおり記載してください。文字左側には空白を入れて、下線が横幅全体になるようにしてください。用紙の端からの距離は「ヘッダー25mm」としてください（この執筆要項をダウンロードしてお使い頂くと便利です）。

・研究報告会発表時の予稿：

「 _____ (全角 29 文字分の空白) _____ 2018 年 日本交通学会 研究報告会」

ただし、「日本交通学会」の前後の空白は半角です。

・『交通学研究』投稿原稿：

「 _____ (全角 32 文字分の空白) _____ 交通学研究 第 62 号」

3.2 種別

1行目（ヘッダー直下）に、「MSゴシック体、10ポイント、太字、左寄せ」で、下記のとおり記載してください。

・研究報告会発表時の予稿：（**予稿**）

・投稿規程に基づく『交通学研究』投稿原稿：（**研究論文**）

・統一論題の寄稿論文：（**統一論題論説**）または（**統一論題資料**）

3.3 タイトル

3行目以降に、「MS明朝体、14ポイント、太字、中央寄せ」で記載してください。2行以上に渡るケースにおいて改行する位置は任意です。

3.4 タイトルの脚注

タイトルには脚注*をつけ、下記内容を「MS明朝体、9ポイント」で記載してください。

・研究報告会発表時の予稿：「2018 年 日本交通学会 研究報告会 発表原稿」

・投稿規程に基づく『交通学研究』投稿原稿：「2018 年 10 月〇日初原稿受理、2019 年〇月〇日採択。」（初投稿時には日付は空欄（〇月〇日）とし、以降は編集委員会の指示に従ってください）。また、『交通学研究』への投稿原稿のタイトルが、研究報告会発表時（予稿）のタイトルと異なる場合には、そのことを明記してください。

・統一論題の寄稿論文：「本稿は、日本交通学会第〇回研究報告会において統一論題シンポジウムにパネリストとしてキーノートスピーチを行った際に使用した論説（または資料）をもとに加筆修正したものである。」

3.5 氏名・所属

「MS明朝体、11ポイント、太字、中央寄せ」で記載してください。執筆者が単独の場合は右詰めで、執筆者が複数の場合には左開始位置を縦に揃えて、なるべく右に寄せてください。

氏名はフルネームを書き、その後に（ ）内で所属を表記してください。

所属は、必要最小限の記載とすることとし、たとえば、大学であれば、学部名や職階は表記しないでください。大学院生である場合にも、そのことを記載しないでください。また、(株) (財)などは省略してください。

研究報告会発表時と投稿原稿との間で執筆者の変更（記載順序の変更も含む）は認められません。

3.6 氏名・所属の脚注

執筆者名のうち、問合せ先者の氏名・所属の末尾には脚注1をつけ、論文の内容等に関する問合せ先を「MS明朝体、9ポイント」で記載してください。

問合せ先の記載内容の制限はありません。E-mail アドレスのみでも構いません。

問合せ先者以外の執筆者に関する各種情報（学部名、職階、E-mail アドレス等）を掲載する場合には、脚注2以降の注釈として記載してください。

3.7 要旨

筆者名から2行あけて「**要旨**」の見出しを「MSゴシック体、9ポイント、太字」で記載してください。要旨の本文（4～5行）は「MS明朝体、9ポイント」で記載してください。

3.8 Key Words

「**Key Words:**」の見出しは要旨から1行あけて「Times New Roman、9ポイント、太字」で記載してください。キーワードは「MS明朝体、9ポイント」、4個もしくは5個挙げて記載してください。

3.9 フッター（ページ番号）

フッター部分には、「Times New Roman、10ポイント、中央寄せ」で、ページ番号を、1ページから順にふってください（先頭ページ、2ページ目以降の両方の指定が必要です）。ただし、『交通学研究』に掲載する際には全体を通したページ番号に変換して収録します。用紙の端からの距離は「フッター17.5mm」としてください。

4. 本文

4.1 開始位置

「**Key Words:**」から2行あけて、本文を開始してください。

4.2 項目（section 表記）の番号およびタイトル

項目番号および項目タイトルは、「MSゴシック体、10ポイント」で表記してください（太字ではありません）。レベルごとのインデント（字下げ）は、以下の通りです。

1. 第1レベル

左寄せ。項目番号は全角数字（2桁でも全角）とし、その後に全角で点（.）を打ち、項目番号の後は空欄を入れずにタイトルを記載する。

1.1 第2レベル

左寄せ。項目番号は半角とし、その後に半角の空欄を1つ入れる。

1.1.1 第3レベル

頭（左端）に半角の空欄1つ入れる。項目番号は半角とし、その後に半角の空欄を1つ入れる。

(1) 第4レベル

頭（左端）に半角の空欄1つ入れる。項目番号は半角とし、その後に半角の空欄を1つ入れる。

a 第5レベル

頭（左端）に半角の空欄2つ入れる。項目番号は半角とし、その後に半角の空欄を1つ入れる。

(a) 第6レベル

頭（左端）に半角の空欄2つ入れる。項目番号は半角とし、その後に半角の空欄を1つ入れる。

4.3 図表

4.3.1 図表番号・図表タイトル

図の番号とタイトルは図の下に、表の番号とタイトルは表の上につけてください。

図の番号は「図1、図2、……………」、表の番号は「表1、表2、……………」と表記してください。番号は1桁の場合は全角で、2桁以上は半角にしてください。

図表の番号とタイトルは「MSゴシック体、10ポイント」で表記してください。ただし、本文で図表に言及する場合には「MS明朝体、10ポイント」で記載してください。

例：……………であるが、図1によると、……………

4.3.2 図表の位置

本文中に図表を位置させる場合には、図表の上下に1行をあけてください。

4.4 数式

数式番号は「(1)、(2)、……………」と付与してください。

番号は1桁の場合は全角で、2桁以上は半角にしてください。

数式を囲む括弧は全角にしてください。

数式の位置は、センタリングでも左詰めでも構いません。

4.5 箇条書きおよび列挙

箇条書きを行う場合の形式は任意です。番号でも「・」および「●」でも構いません。

本文内の列挙についても形式は任意です。「①、②、…」、 「(1)、(2)、…」、 「(1)、(2)、…」などいずれでも構いません。

4.6 脚注

注釈は、脚注挿入機能により、「MS明朝体、9ポイント」で記載してください。

本文中に注釈位置を番号によって上付きで表記してください。例：例²

Microsoft Wordの脚注挿入機能を使えば自動的に番号は付与されます。

文末に脚注をつける場合は、句点（。）の前につけてください。

なお、脚注1は「問合せ先」になりますので、本文の脚注番号は2から始まります。

4.7 引用

引用部分は「 」で囲んでください。

引用文献の表記は、

①引用部分を含む場合には、()内に一括表記する。

例：「……………。(杉山・竹内 2008,p.10)」と指摘され……………

②引用部分の外に出す場合には、文献名とページを別記する。

例：杉山・竹内(2008)は、「……………。(p.10)」と論じており、……………

としてください。

5. 参考文献

5.1 参考文献リスト

参考文献は、論文末に一括して掲載し、日本語は「MS明朝体、9ポイント」、英数字は「Times New Roman、9ポイント」で記載してください。

和書・洋書の区別なく、執筆者名のアルファベット順に記載してください。

参考文献に通し番号は付与しないでください。

「**参考文献**」の見出しは「MSゴシック体、9ポイント、太字」で記載し、「5. **参考文献**」の「5.」のように節番号は付与しないでください。

5.2 参考文献の記載方法

参考文献の記載方法は以下に従ってください。各号の例を、本執筆要項の末尾に記載していますのでご参照く

ださい。

5.2.1 雑誌（邦文）

著者名(刊行年)「論文名」『雑誌名』～巻～号、pp.…….

例：杉山武彦(2008)「日本交通学会の将来」『学会研究』第2巻第1号、pp.11-12.

5.2.2 著書（和書）

著者名(刊行年)『著書名』発行元.

例：太田和博・今橋隆(2010)『日本交通学会 70 年の先人たち』学会評論社.

5.2.3 雑誌（欧文）

著者名(刊行年),“(論文名),”(雑誌名:イタリック),Vol. …, No…pp.…….

例：Ohta, K.(2025), “Beyond Transportation,” *Best Transport*, Vol.1, No.2, pp.10-24.

5.2.4 著書（欧文）

著者名(刊行年), (著書名:イタリック),発行元.

例：Imahashi, R. and K. Ohta (2025), *The Best Transport for the Elderly*, JNR Press.

5.2.5 その他の参考文献・資料など

その他の資料や、インターネットのホームページアドレスなどの書式はとくに定めませんが、上記の著書・雑誌等の記載書式に準拠して、必要な情報を明確に記載してください。

6. その他

6.1 論文の目次

論文の目次は、付与しないでください。

6.2 付録

必要ならば、付録を付けてください。

6.3 日本語のチェック

日本語を母語としない執筆者は、投稿前に日本語用法について第三者のチェックを受けてください。

日本語を母語とする執筆者であっても、学術誌にふさわしい日本語表記を心がけてください。日本語表現能力が学術誌レベルに達していない場合、掲載不可と判定されることがあります。

また、査読者および編集委員会は、日本語のチェックは行いません。査読者および編集委員会は審査者（レフェリー）であって、文書校閲者（文書チェッカー）ではありません。したがって、誤字脱字等の責任は執筆者にあります。

推敲を重ねてから、ご提出ください。

6.4 英語論文

研究報告会予稿原稿および『交通学研究』投稿原稿として、英語論文を受け付けています。ただし、他の外国語の論文は受け付けていません。英語論文の場合、この執筆要項を参照して、適切に原稿を執筆してください。

6.5 付帯提出物

年報『交通学研究』への投稿原稿には、英文表記の氏名、所属、論文タイトルおよび5行から10行程度の英文サマリーを添付していただきます。

付録

表1 文字のフォント・ポイント等

箇所	フォント	ポイント	備考
ヘッダー	MSゴシック体	10ポイント	右寄せ、下線付き
種別(1行目)	MSゴシック体	10ポイント	太字、左寄せ
タイトル(3行目から)	MS明朝体(※)	14ポイント	太字、中央寄せ
氏名・所属	MS明朝体(※)	11ポイント	細字、中央寄せ
「要旨」の見出し	MSゴシック体	9ポイント	太字
要旨(本文)	MS明朝体(※)	9ポイント	
「Key Words:」の見出し	Times New Roman	9ポイント	太字
Key Words	MS明朝体(※)	9ポイント	
本文	MS明朝体(※)	10ポイント	
項目番号・項目タイトル	MSゴシック体	10ポイント	
図表番号・図表タイトル	MSゴシック体	10ポイント	本文で図表に言及する場合はMS明朝体(※)、10ポイント
脚注	MS明朝体(※)	9ポイント	
謝辞等	MS明朝体(※)	10ポイント	
「謝辞」等の見出し	MSゴシック体	10ポイント	太字
参考文献	MS明朝体(※)	9ポイント	
「参考文献」の見出し	MSゴシック体	9ポイント	太字
フッター(ページ番号)	Times New Roman	10ポイント	中央寄せ

(※) 英数字についてはTimes New Roman 体

謝辞

謝辞等を掲げる場合には、本文の後、参考文献の前に、「MS明朝体、10ポイント」で記載してください。「謝辞」等の見出しは「MSゴシック体、10ポイント、太字」で記載してください。

参考文献

杉山武彦(2008)「日本交通学会の将来」『学会研究』第2巻第1号、pp.11-12.

太田和博・今橋隆(2010)『日本交通学会70年の先人たち』学会評論社.

Ohta, K.(2025), "Beyond Transportation," *Best Transport*, Vol.1, No.2, pp.10-24.

Imahashi, R. and K. Ohta (2025), *The Best Transport for the Elderly*, JNR Press.

以上

2018年6月16日編集委員会基本構成承認